

第23回 上飯田リハビリテーションセミナーのご案内

日 時 : 平成27年6月12日(金曜日) 18時30分~20時30分

場 所 : 電気文化会館 イベントホール
〒460-0008 名古屋市中区栄2-2-5 TEL 052-204-1133
(地下鉄東山線・鶴舞線「伏見駅」④番出口徒歩2分)

対 象 : 医師、看護師、PT、OT、ST、介護福祉士、MSW などリハビリテーション医療に従事する方

講 師 1. : 慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 准教授
慶應義塾大学病院リハビリテーション科 診療副部長
慶應義塾大学医学部腫瘍センターリハビリテーション部門 部門長

辻 哲也 (つじ てつや) 先生

テーマ : 「がんリハビリテーション最前線 病期・治療目的・がん種別の実際」

抄録詳細 : 人口の高齢化とともに、わが国におけるがん罹患患者数は年々増加し、生涯でがん罹患する確率は、ほぼ2人に1人となった。がん生存者が500万人に達しようとする現在、がんは“不治の病”であった時代から“がんと共存”する時代になりつつある。がんの進行もしくは治療の過程で様々な機能障害が生じ、ADLに制限を生じQOLの低下をきたしてしまうので、これらの問題に対して、症状の緩和や二次的障害の予防とともに、身体機能や生活能力の維持・改善を目的としてリハビリテーション治療を行うことは、質の高いがん医療を行う上で大きな役割を担う。講演では、原発巣・治療目的・がんの種類別に、がんリハビリテーションの実際についてお話する。

講 師 2. : 東京慈恵会医科大学付属病院 リハビリテーション科 主任教授 診療部長

安保 雅博 (あぼ まさひろ) 先生

テーマ : 「脳卒中後上肢麻痺のリハビリテーション -慢性期の研究結果から回復期へ望むこと-」

抄録詳細 : 2014年6月のClin Neurophysiol にヨーロッパの専門医グループによる Evidence-based guidelines on the therapeutic use of repetitive transcranial magnetic stimulation (rTMS) と題するレビューがだされて、rTMSの脳卒中後の運動麻痺改善に対する効果が Level B evidence と明確に推奨されるに至った。このガイドラインに我々の論文も12本引用された。2000例を超える症例中心に脳卒中後の運動麻痺に対する反復性経頭蓋磁気刺激とリハビリテーションの併用の効果を述べて、回復期における上肢麻痺に対するリハビリテーションの重要性と望むことについて講演する。

〒462-0802 名古屋市中区上飯田北町3丁目57番地 上飯田リハビリテーション病院内
上飯田リハビリテーションセミナー事務局
TEL 052-916-3681 FAX 052-991-3112 URL: <http://www.kami2-hp.jp>